

動物用医薬品

要指示医薬品

注射用胎盤性性腺刺激ホルモン

動物用 **ゴナトロピン[®] 3000**動物用 **ゴナトロピン[®] 5000**動物用 **ゴナトロピン[®] 10000**GONATROPIN[®]貯 法：遮光して、冷所に保存してください。
使用期限：包装に表示の使用期限内に使用してください。

	3000	5000	10000
※ 承認番号	16消安 第10772号	16消安 第10773号	16消安 第10774号

本剤は胎盤性性腺刺激ホルモンの注射用凍結乾燥製剤であり、用時、添付の溶解液により溶解して用います。胎盤性性腺刺激ホルモンは胎盤由来の糖蛋白質であり、雌性動物に対しては主に黄体形成ホルモン（LH）様作用を持ち、卵巣刺激ホルモン（FSH）様作用は弱く、雄性動物に対しては間質細胞を刺激し、男性ホルモンを分泌させます。

【組成・性状】

販売名	動物用 ゴナトロピン 3000	動物用 ゴナトロピン 5000	動物用 ゴナトロピン 10000
成分	胎盤性性腺刺激ホルモン		
含量	1 アンプル中 3000単位	1 アンプル中 5000単位	1 アンプル中 10000単位
添加物	1 アンプル中乳糖 10 mg, pH調整剤		
剤形・性状	アンプル (白色～淡黄褐色の粉末又は塊の凍結乾燥製剤)		
pH	5.0～7.0 (生理食塩液 1 mL中に本品 2 mg を溶解したとき)		
添付溶解液	1 アンプルに対し 0.6% 塩化ナトリウム溶液 5 mL 1 アンプル		

【効能・効果】

牛（雌）：卵巣のう腫、排卵障害、卵巣発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）
馬（雌）：卵巣のう腫、排卵障害、卵巣発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）
豚（雌）：卵巣発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、分娩後の発情誘起
犬（雌）：卵巣発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、無発情期における発情誘起
牛（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）
馬（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）
豚（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）

【用法・用量】

添付の溶解液に溶解し、通常 1 日 1 回 1 頭当たり胎盤性性腺刺激ホルモンとして下記の量を注射します。

牛（雌）：1,500～10,000単位（静脈内、筋肉内又は皮下注射）。但し、卵巣のう腫の場合はう腫腔内、卵巣発育障害の場合は卵巣実質内に 1,500～3,000単位を注射する。
馬（雌）：1,500～6,000単位（筋肉内、皮下注射）
豚（雌）：1,500～3,000単位（筋肉内注射）
犬（雌）：150～3,000単位（筋肉内注射）
牛（雄）：1,000～2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与する。
馬（雄）：1,000～2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与する。
豚（雄）：1,000～2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与する。

【使用上の注意】

1. 一般的注意

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師の処方せん・指示により使用してください。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守してください。
- 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用してください。

2. 使用者に対する注意

誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

3. 対象動物に対する注意

(1) 制限事項

本剤の投与前には健康状態について検査し、異常を認めた場合は投与しないでください。

(2) 副作用

- 本剤の反復投与により、抗ホルモン抗体が産生され効果を減ずることがあります。
- 本剤の投与により、過敏性反応を起こすことがあります。

(3) 相互作用

本剤を血清性性腺刺激ホルモン（PMS）と併用して投与すると過排卵を起こし、多胎妊娠することがあります。

(4) 適用上の注意

- 本剤は、溶解液に混和後直ちに振盪溶解し、速やかに使用してください。
- 本剤の静脈内注射はできるだけ緩徐に行ってください。

4. 取扱い上の注意

使用済みの空容器等は適切に処分してください。

5. 保管上の注意

- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けてください。

【薬理作用】

- LH（あるいは ICSH）作用を示し、FSH 作用を併有します（ラット¹⁾）。
- 排卵を誘発し、黄体を形成させる。また、黄体ホルモンの産生を促進します（ウサギ²⁾）。
- Leydig 細胞の発育を促進し、男性ホルモンの合成と分泌並びに精子形成能を高めます（ウサギ・ブタ・ヒト in vitro³⁾、ラット^{4,5)}）。
- 母体の免疫能、特に細胞性免疫能を低下させる（ヒト in vitro⁶⁾）。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：胎盤性性腺刺激ホルモン

Chorionic Gonadotrophin [JAN]

性状：白色～淡黄褐色の粉末で、水に溶けやすい。

【包装】

動物用ゴナトロピン3000：3000単位×5（アンプル）

[溶解液：0.6%塩化ナトリウム溶液 5 mL×5（アンプル）
添付]

動物用ゴナトロピン5000：5000単位×5（アンプル）

[溶解液：0.6%塩化ナトリウム溶液 5 mL×5（アンプル）
添付]

動物用ゴナトロピン10000：10000単位×5（アンプル）

[溶解液：0.6%塩化ナトリウム溶液 5 mL×5（アンプル）
添付]

【主要文献】

- 1) Albert, A : J. Clin. Endocrinol. Metab., **29** : 1504, 1969
- 2) Spies, H.G., et al. : Endocrinol., **78** : 67, 1966
- 3) Brady, R.O., et al. : J. Biol. Chem., **193** : 145, 1951
- 4) Simpson, M.E., et al. : Endocrinol., **35** : 96, 1944
- 5) Schoen, E.J., et al. : Acta Endocrinol., **50** : 365, 1965
- 6) Adcock III, E.W., et al. : Science, **181** : 845, 1973

※【文献請求先】

あすか製薬株式会社 アニマルヘルス部
〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号

※製造販売元

あすか製薬株式会社

東京都港区芝浦二丁目5番1号